

CA378-AOIS for TinkerBoard ソフトウェアセットアップガイド

Version 1.0.0

Dated: 2019/10/25

Home Page https://www.centuryarks.com/products/sensor/cm



日付	バージョン	コメント
2019/10/25	v1.0.0	新規リリース

目次



- 1. 概要
- 2. デモソフト環境設定
- 3. ドライバのインストール
- 4. デモソフトウェアインストール
- 5. デモ実行方法
 - 5. 1. Focus & OIS デモ
 - 5. 2. 12M静止画撮影
 - 5. 3. 静止画撮影
 - 5. 4. 動画撮影
 - 5. 5. デモソフトウェアビルド

Appendix

- A. 1. ファイル構成について
- A. 2. 設定ファイルについて

1. 概要



本資料は、TinkerBoard上でカーネルドライバのビルド手順とソフトウェアのインストールについて説明します。

Hardware: TinkerBoard

OS:TinkerOS Debian9 v2.0.8

CSI Hardware: CenturyArks CA378-AOIS(Sony IMX378)

2. デモソフト環境設定



2種類の環境構築手順があります。

1:カーネル、ドライバ、デモソフトがインストールされたTinkerOSイメージを使用する手順2:カーネル、ドライバ、デモソフトのマニュアルインストール手順

2.1. カーネル、ドライバ、デモソフトがインストールされたTinkerOSイメージを使用する手順OS:TinkerOS Debian9 v2.0.8(Kernel v4.4.132)
Demo soft:v1.0.0

(1-1)以下のイメージをダウンロードしてください。

https://www.centuryarks.com/images/product/sensor/2019-10-25-tinkeros-v1.0.0 CA378-AOIS.zip

(1-2)イメージファイルをSDカードへ書き込んでください。Windowsであれば「win32diskimage」、Linuxであれば「balenaEtcher」等のアプリを使用します。

(1-3) Tinker boardを起動します。 ID:linaro PASSWORD:linaro

(1-4)**このイメージファイルはカーネル、ドライバ、デモソフトが含まれているため、**4章までの手順は不要です。

2. デモソフト環境設定

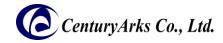


2.2. カーネル、ドライバ、デモソフトのマニュアルインストール手順 (2-1) TinkerOSのイメージをダウンロードし、SDカードへ書き込みます。

https://github.com/TinkerBoard/debian_kernel/releases/download/2.0.8/20181023-tinker-board-linaro-stretch-alip-v2.0.8.img.zip

(2-2) Tinker boardを起動します。 ID:linaro PASSWORD:linaro

3. ドライバのインストール



- •手順概要
- 1. カーネルソースの準備
- 2. カーネルのビルドとインストール

手順1. カーネルソースの準備

以下のサイトからファイルをTinkerBoardのホームディレクトリへダウンロードし、以下のコマンドを実行します。

https://github.com/centuryarks/CA378-

AOIS/releases/download/TINKER v1.0.0 v4.4.132(Debian9 v2.0.8)/CA378 v1.0.0 TinkerOS De bian v2.0.8 src build.tar.gz

tar -zxvf CA378_v1.0.0_TinkerOS_Debian9_v2.0.8_src_build.tar.gz

cd CA378_v1.0.0_TinkerOS_Debian9_v2.0.8_src_build

./PrepareKernelSources.sh

手順2. カーネルのビルドとインストール 以下のコマンドでカーネルをビルド、インストールします。

./BuildKernelSources.sh

再起動

sudo reboot

4. デモソフトインストール



以下の手順でインストールを実行してください。

- ・インストール手順
- 1. 以下のサイトから「demo_v1.0.0_tinker.tar.gz」をダウンロードします。

https://github.com/centuryarks/Sample/releases/download/TINKER_v1.0.0_v4.4.132(Debian9_v2.0.8)/demo_v1.0.0_tinker.tar.gz

wget --no-check-certificate ¥ "https://github.com/centuryarks/Sample/releases/download/TINKER_v1.0.0_v4.4.132(Debian9_v2.0.8)/demo_v1.0.0_tinker.tar.gz"

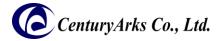
- 2. 「demo_v1.2.0_tx2.tar.gz」ファイルを解凍してください。
- # tar -zxvf demo_v1.2.0_tx2.tar.gz
- 3. 解凍できたフォルダ内にある「Install.sh」を実行してください。
- # cd demo
- # ./Install.sh
- 4. デスクトップにショートカットが作成されます。 DEMO

5. デモ実行方法



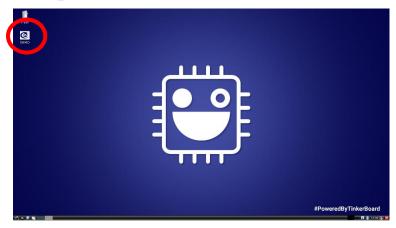
- 5. 1. Focus & OIS デモ
- 5. 2. 12M静止画撮影
- 5. 3. 静止画撮影
- 5. 4. 動画撮影
- 5. 5. デモソフトウェアビルド

5. 1. Focus & OIS デモ



Focus & OIS デモの起動:

1. デスクトップの「DEMO」アイコンをクリックします。



- 2. 被写体の距離を変更したり、カメラを動かしたりして、機能を確認してください。
- ※機能詳細は、P12を参照ください。

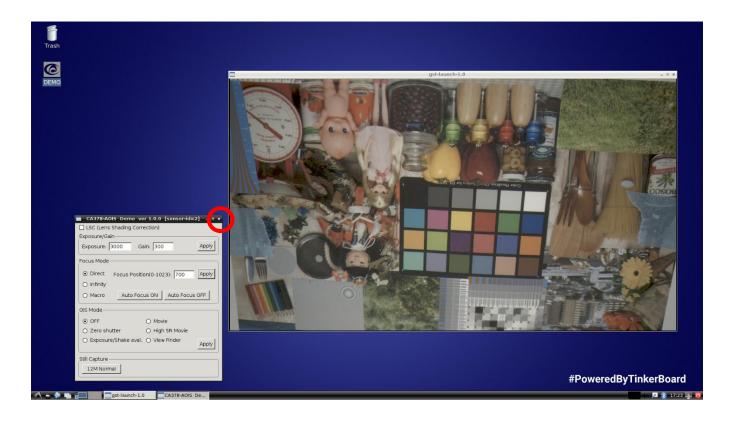


5. 1. Focus & OIS デモ



Focus & OIS デモの終了:

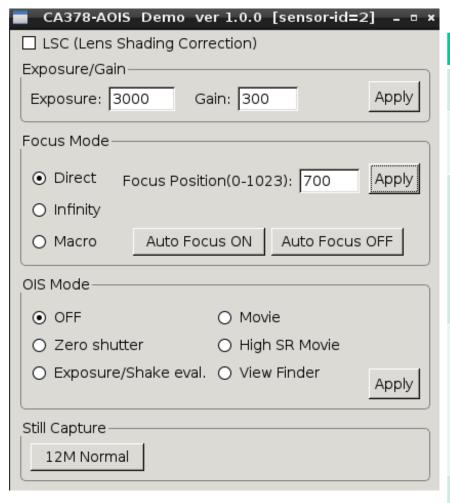
1. ×ボタンをクリックします。



5. 1. Focus & OIS デモ



Focus & OIS の各機能について説明します。



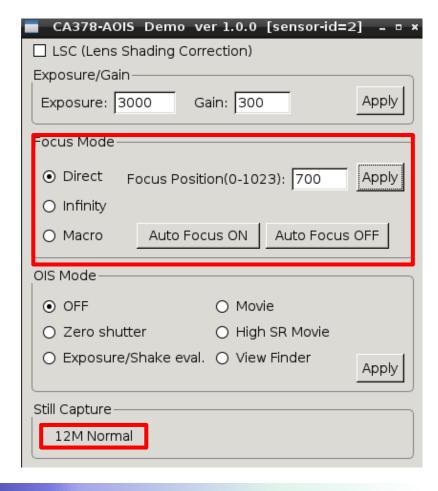
機能	説明	
LSC	チェックするとシェーディング補正を有効にします ※理論値を設定してあります	
Exposure/Gain	Exposure: 露光時間を設定します(1-65515) Gain: ゲインを設定します(100-2200) Apply: 設定を適用します	
Focus Mode	Direct:フォーカス位置を直接指定します Infinity:フォーカス位置を無限遠に設定します Macro:フォーカス位置を近距離に設定します Focus Position:フォーカス位置 Apply:設定を適用します Auto Focus ON:オートフォーカスを有効にします Auto Focus OFF:オートフォーカスを無効にします ※現在デモ用にデバッグ制御されています。	
OIS Mode	OFF: OISを無効にします。 各OISモードに対応します。 Zero Shutter Exposure/Shake eval. Movie High SR Movie View Finder Apply: 設定を適用します	
Still Capture	12M Normal: 12M静止画撮影を行います。	

5. 2. 12M静止画撮影



12M静止画撮影の実行:

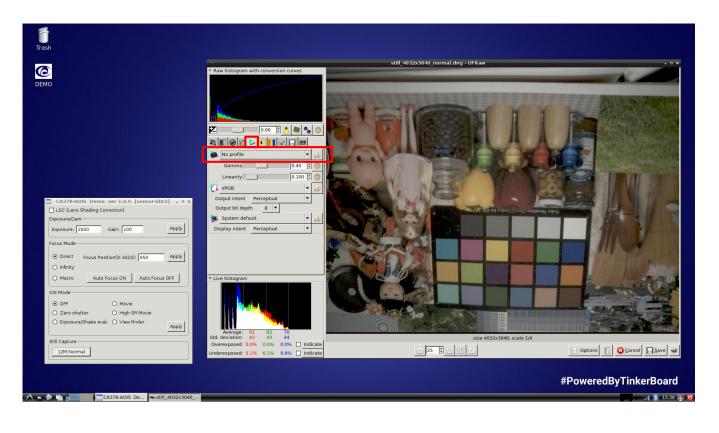
- 1. フォーカスの調整をしておきます。
 (Auto Focus ONにし、焦点が合ったらAuto Focus OFFにすると便利です)
- 2. [12M Normal] ボタンをクリックします。



5. 2. 12M静止画撮影



- 3. RAWとDNGフォーマットで撮像が可能です。
- 4. カラーマネジメントのカメラプロファイル設定を「No profile」に設定してください。



5. 3. 静止画撮影



指定画像サイズで撮影するには、Stillスクリプトを変更してアプリの撮影ボタンを押すか、キャプチャコマンドを実行してください。

Stillスクリプト

~/demo/script/stillCapture12M_Normal.sh

```
stillCapture12M Normal.sh
File Edit Search Options Help
#!/bin/sh
cd /home/linaro/demo
#W=1920
#H=1080
#media-ctl -d /dev/media0 --set-v4l2 '"imx378 2-001a":0[fmt:SBGGR10/1920x1080]
#media-ctl -d /dev/media0 --set-v4l2 '"rkispl-isp-subdev":0[fmt:SBGGR10/1920x1080]' #sink
#media-ctl -d /dev/media0 --set-v4l2 '"rkisp1-isp-subdev":0[fmt:SBGGR10/1920x1080]' --set
#media-ctl -d /dev/media0 --set-v4l2 '"rkisp1-isp-subdev":2[fmt:SBGGR10/1920x1080]' #sour
#media-ctl -d /dev/media0 --set-v4l2 '"rkispl-isp-subdev":2[fmt:SBGGR10/1920x1080]'
#H=2160
#media-ctl -d /dev/media0 --set-v4l2 '"imx378 2-001a":0[fmt:SBGGR10/3840x2160]
#media-ctl -d /dev/media0 --set-v4l2 '"rkispl-isp-subdev":0[fmt:SBGGR10/3840x2160]' #sink
#media-ctl -d /dev/media0 --set-v4l2 '"rkispl-isp-subdev":0[fmt:SBGGR10/3840x2160]' --set
#media-ctl -d /dev/media0 --set-v4l2 '"rkispl-isp-subdev":2[fmt:SBGGR10/3840x2160]' #sour
#media-ctl -d /dev/media0 --set-v4l2 '"rkispl-isp-subdev":2[fmt:SBGGR10/3840x2160]' --set
H=3040
media-ctl -d /dev/media0 --set-v4l2 '"imx378 2-001a":0[fmt:SBGGR10 1X10/4032x3040]'
media-ctl -d /dev/media0 --set-v4l2 '"rkisp1-isp-subdev":0[fmt:SBGGR10 1X10/4032x3040]'
media-ctl -d /dev/media0 --set-v4l2 '"rkisp1-isp-subdev":0[fmt:SBGGR10<sup>-</sup>1X10/4032x3040]'
media-ctl -d /dev/media0 --set-v4l2 '"rkisp1-isp-subdev":2[fmt:SBGGR10_1X10/4032x3040]'
media-ctl -d /dev/media0 --set-v4l2 '"rkisp1-isp-subdev":2[fmt:SBGGR10 1X10/4032x3040]'
filename=still ${W}x${H} normal
v4l2-ctl -d /dev/video1 --set-ctrl exposure=${2} --set-ctrl gain=${3} --set-selection=tar
 ./bin/raw2dng -i $filename.raw -o $filename.dng -w ${W} -h ${H} -bit 10 -gain 1.0 1.0 1.0
ufraw $filename.dng
```

キャプチャコマンド

v4l2-ctl -d /dev/video1
--set-ctrl exposure=2000
--set-ctrl gain=200
--set-selection=target=crop,top=0,left=0,width=4032,height=3040
--set-fmt-video=width=4032,height=3040,pixelformat=BG10
--stream-mmap=8 --stream-to=temp.raw --stream-count=1

5. 4. 動画撮影



録画メモリ領域確保

cd ~/demo/script/ # ./ramdisk.sh

動画撮影(mp4)

cd ~/demo/script/ # ./capture_VGA.sh

動画再生(mp4)

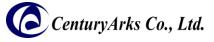
cd ~/demo/script/
mplayer -fps 1 /mnt/ram/VGA.mp4

5. 5. デモソフトウェアビルド



デモソフトウェアビルド手順

- # cd ~/demo/src/
- # ./MakeDomo.sh
- # mv GUI/DemoGUI /home/linaro/demo/bin
- ※qmakeでエラーが発生する場合には、以下のコマンドでインストールしてください。
- # sudo apt install qt4-default



Appendix

A. 1. ファイル構成について

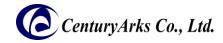


デモソフトのファイル構成について説明します。

```
demo
    -appicon.png
    -Install.sh
    -bin
     demo.ini
     DemoGUI
     raw2dng
     raw2hdr
    -script
     capture_VGA.sh
      demo.sh
     IMX378 1022.xml
     preview.sh
      ramdisk.sh
     stillCapture I 2M_Normal.sh
     test_camera_1920.sh
     test camera 3840.sh
     test_camera_4032.sh
    -src
         GUI
         af control.c
         af_control.h
         communication.h
         communication tinker.c
         debug_util.h
         demo control.c
         demo_control.h
         DemoGUI.pro
         lsc control.c
         lsc_control.h
         main.cpp
         mainwindow.cpp
         mainwindow.h
         mainwindow.ui
         Makefile
         ois control.c
         ois_control.h
         slave_address.h
         tools.h
         types_util.h
         libtiff.patch
         Makefile
         raw2dng.c
         raw2hdr.c
         tools.h
        -MakeDemo.sh
```

機能	説明
bin	DemoGUI: デモソフト Demo.ini: デモソフトの設定ファイル
script	スクリプトが記述されています。 仕様に応じてカスタマイズ可能です。 demo.sh preview.sh stillCapture12M_Normal.sh
src	デモソフトのソースコード一式です。
tool	画像ファイル変換ツールが記述されています。

A. 2. 設定ファイルについて



設定ファイルのdemo.iniについて説明します。

```
# DEMO Setting
preview = /home/linaro/demo/script/preview.sh
stillCapture12M_Normal = /home/linaro/demo/script/stillCapture12M_Normal.sh
gyroGainRateX=1.00
gyroGainRateY=1.00
autoFocusGain=2.0
autoFocusConfidenceThreshold=10
autoFocusMoveLimit=100
AutoFocusAverageNum=1
Exposure=1000
Gain=200
```

機能	説明
preview	プレビュー用のスクリプトPathです。
stillCapture12M_Normal	12M静止画撮影用のスクリプトPathです。
gyroGainRateX gyroGainRateY	EEPROMにOISキャリブレーション結果が書き込まれていた場合のみ有効です。
autoFocusGain	オートフォーカスのゲインを調整します。
autoFocusConfidenceThreshold	Phase Differenceの信頼度の閾値を指定します。
autoFocusMoveLimit	一度のフォーカス移動量を制限します。
AutoFocusAverageNum	オートフォーカスの平均量を調整します。
Exposure	露光時間を調整します。
Gain	ゲインを調整します。

